



学部長就任ごあいさつ

教育学部

学校教育学部長 五十嵐 二郎



この度、学校教育学部長に選任され、重責を担うことになりましたが、学部教職員の皆様方をはじめ、広島大学各部局構成員の皆様方の御支援、御協力を得ながらつとめていきたいとお願いいたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本学部は、昭和53年6月、教育学部の改組に伴い、学校教育学部と改称され、爾来、13年目を迎えています。その間に「大学院学校教育研究科」が設置され、幸いにも、今春、懸案の家庭科と技術科を統合し計画してきました生活科学教育専攻の設置を見るにいたりました。これによりまして本学部が当初計画しました修士課程10専攻全部の整備が完了したことになります。このことは、ひとえに長年にわたる歴代の学部長、教職員の皆様方の御努力と御協力、広島大学事務当局皆様方の温かい御理解と御支援の賜と深く感謝し、衷心より厚くお礼申し上げる次第です。

さて、昨今、国際化社会への対応が強く求められ、学術・文化・教育の面での国際交流もますます盛んになってきております。本学部におきましても、毎年、中国、韓国、フィリピンなどアジア諸国および中・南米諸国から教員研修留学生や一般留学生を迎え、日本の教育・文化・歴史・地理・風俗習慣など、日本の理解や認識につとめていただいております。今後、ますます留学生や外国人研究者受入れの増大が考えられますが、彼らに安心して気持よく勉学や研究を続けてもらうためにも、可能な限りの条件整備が意図されねばならないと考えております。この時にあたり、去る3月11日(月)に、本学部の学部長室において、アメリカ合衆国ノース・カロライナ州立

イースト・カロライナ大学教育学部とわが広島大学学校教育学部との部局間協定書調印式が行われました。これは、誠に喜ばしい、有意義な出来事であり、両学部の今後の研究・教育の協力促進のみならず、両大学間そして両国間の国際化の要請にも応えていくことになると思います。

冒頭で本学部の修士課程10専攻の整備の完了した旨報告させていただきましたが、平成2年度までに、日本における27の教員養成系大学学部大学院修士課程が設置され、今後増設される傾向にあります。この度、日本教育大学協会大学院(博士課程)検討特別委員会は、平成3年2月1日付で「教員養成系大学・学部設置される大学院博士課程について」の報告書を作成し、教育大学協会長に上申しました。そこでは、今後の検討に資するための大綱を示していますが、博士課程設置の目的として、学校教育と教科教育の二本柱に重点をおき、それらの理論と実践にかかわる高度の研究者養成の必要性と重要性を指摘しています。より具体的には(1)学校教育の実践に根ざした教育科学研究者の育成と(2)緊急の課題としての教科教育学研究者の専門的育成とが中心となっています。

本学部におきましても、この報告書の内容を十分参照し検討しながら、研究科の内容構成、設置規模、設置形態などについて、独自の立場から、現代社会の要請に応え得る大学院博士課程の設置を構想中であります。広島大学各部局構成員の皆様方の今後における本学部に対する温かい御理解と御支援を衷心よりお願い申し上げまして学部長就任のごあいさつに代えさせていただきます。